

# 首里城公園企画展「首里城のデザイン」実施結果報告

大城 樹<sup>\*1</sup>

## はじめに

首里城公園南殿二階特別展示室では、常時文化財を展示公開する常設展示・企画展示を行っている。今回は「首里城のデザイン」という名称で企画展を実施した。首里城で使われているデザインを取り上げ、3回シリーズの連続企画展を行い、琉球王国時代に首里城正殿や工芸品に使われたデザインや、琉球人が好んだ模様を、首里城公園が所蔵する資料の展示を通して、多くの県民、沖縄を訪れる観光客へ伝えるため開催した。また、今回の展示会の実施が、入館者にどのような反響を与えたのかを確認するため、首里城公園管理センターでは、展示期間中に一定期間を設けアンケート調査を行った。そこで、企画展「首里城のデザイン」の実施結果を報告しながら、アンケート集計内容を紹介し、入館者の動向を分析し考察を行ってみたい。

## 1 企画展の実施概要

1) 企画展の名称 : 「首里城のデザイン」

2) 個別テーマ及び日程

第Ⅰ期 首里城のデザインⅠ ～牡丹 百花王と首里城～

平成23年7月8日(金)～10月6日(木) (会期日数:91日)

第Ⅱ期 首里城のデザインⅡ ～葡萄と栗鼠 王の玉座を飾った異国の模様～

平成23年10月7日(金)～12月22日(木) (会期日数:77日)

第Ⅲ期 首里城のデザインⅢ ～Shurijo&Dragon～ 首里城公園開園20周年記念イベント

平成23年12月23日(金)～平成24年3月23日(金) (会期日数:92日)

3) 会場 : 首里城公園南殿二階特別展示室

4) 期間中の入館者数 : 1, 283, 264名(うち、各会期の入館者は、第Ⅰ期:379,797名、第Ⅱ期:442,751名、第Ⅲ期:460,716名)

5) 個別の企画展の展示レイアウトと展示資料

本企画展では、テーマに沿った琉球王国時代の文化財の展示を行った。展示に活用した文化財の総件数は46件53点(第Ⅰ期:22件25点 第Ⅱ期:11件14点 第Ⅲ期:13件14点)で、公開した文化財は、全て海洋博覧会記念公園管理財団所蔵資料である。

6) 図録の製作・販売

本企画展の図録を製作して、首里城及び琉球の美術工芸資料の内容を解説紹介しながら、首里城公園の利用促進を図るものとした。発行部数は3,000冊であった。

---

\*1 一般財団法人沖縄美ら島財団 首里城公園管理部 事業課調査展示係

## 7) 広報の実施内容

### (1) 首里城公園ホームページの活用

首里城公園のホームページに、展示内容を更新して掲載し、周知を行った。

### (2) パブリシティ広告の活用

県内新聞紙・雑誌の無料掲載欄を積極的に活用し、開催の告知を行った。

### (3) 告知チラシ

A4判両面カラー告知チラシを100,000部作成し、県内博物館・図書館・観光地等を中心に配付した。

## 8) 入館者プレゼントの実施

入館者に企画展及び琉球の文化財に関心を持ってもらおうと、会場内に設置したキーワードと企画展に関するアンケートを応募用紙に記入し、会場内で応募してもらい、抽選で今回製作した図録「首里城のデザイン」をプレゼントする取り組みを行った。アンケートの実施内容及び集計結果は次項を参照してほしい。

## 2 アンケートの実施

### 1) アンケートの記入方法

会場内に設置したキーワードと企画展に関するアンケートを応募用紙に記入し、会場内で応募する。また、その中から抽選で、今回製作した図録「首里城のデザイン」をプレゼントする取り組みを行った。

### 2) アンケートの項目

アンケートの項目は下記の通り。

[表面] 図録プレゼント応募用紙

◆氏名 ◆性別 ◆住所 ◆キーワード

[裏面] アンケート

③年齢 0～10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

④首里城公園への訪問は何回目ですか? 初めて 2回目 3回目 4回目以上

⑤今回の企画展をどうやって知りましたか?

ホームページ ポスター・チラシ 新聞( ) 情報番組・ニュース 情報誌・雑誌( )

ラジオ (FM沖縄:「風に吹かれて首里城めぐり」など) ここに来て知った

前回の企画展「〇〇〇」などを見て その他( )

⑥企画展の告知方法として、どのような方法が効果的だと思いますか?

ホームページ ポスター・チラシ 新聞 情報誌・雑誌 CM(テレビ or ラジオ)

その他( )

⑦今回の企画展はどうでしたか?

非常におもしろかった おもしろかった 普通 おもしろくなかった

⑧次回は企画展「〇〇〇」が開催されますが…

見に行きたい 考え中 見に行かない その他( )

☆ご意見・ご感想

なお、プレゼント当選の場合、お送りする際に必要な住所と氏名を応募用紙に記入する方式をとったので、アンケート記入者の出身地が、かなり正確に調査できた。

### 3 アンケート結果と分析

#### 1) アンケート期間（企画展開催中、一定期間でアンケートを行った。）

第Ⅰ期 平成23年7月8日（金）～7月21日（木）（日数：14日）

第Ⅱ期 平成23年10月7日（金）～10月20日（木）（日数：14日）

第Ⅲ期 平成23年12月23日（金）～平成24年1月9日（月）（日数：18日）

#### 2) アンケート回答数：2,787名（うち、各会期のアンケート期間中の入館者は、第Ⅰ期：46,209名、第Ⅱ期：83,519名、第Ⅲ期：89,004名で、合計218,732名）

図録プレゼントに応募した件数は、期間中の合計3,535件あった。そのうち、アンケートまで記入された入館者は2,787件であり、プレゼント応募者の中でのアンケート回答率は78.8%であった。アンケート回答件数は、アンケート期間中（46日間）の入館者（218,732名）に占める割合でいうと1.3%であった。

#### 3) 企画展見学者の出身地の割合

企画展見学者の出身地の割合は、県内客が10.0%、県外客が89.2%、海外客が0.1%であった。圧倒的に県外客が多い事が分かる。

その内訳をさらに紹介すると、県内客は那覇市が45.9%で最も多い。次いで、宜野湾市が10.0%、浦添市8.6%、うるま市が5.4%となり、その他の市町村は、中南部からの入館者がほとんどであり、全て15名以下であった。

県外客の内訳は、東京都が15.9%、次いで神奈川県が9.7%、大阪府の7.0%であるが、千葉県6.7%、埼玉県6.0%と圧倒的に関東圏が多い。また、全国各地からの訪問があったことが分かる。

#### 4) 年齢

～10代が41.3%と圧倒的に多く、次いで40代が15.8%、30代が15.7%とほぼ近い割合であった。60代以降の年齢層は、60代が4.4%、70代以上が1.7%と回答が少なかった。10代～40代が多い要因としては、第Ⅰ期の開催中に「NHK BS時代劇『テンペスト』」が放送開始された事や、第Ⅱ期の開催中に「世界のウチナーンチュ大会」が開催されていた事、第Ⅲ期の開催が年末年始をはさんで行われた事など、撮影地への訪問や、家族旅行のツアーでの訪問、第Ⅲ期のテーマ「龍」と明けた年の干支が「辰年」であり、テーマとリンクした事で「干支にちなみ縁起が良い」との意識があったためか、家族での参拝前後に首里城へ立ち寄る傾向が多かったのではないかとと思われる。

#### 5) 性別

男性が36.7%、女性が62.4%であり、女性の方のアンケート記入が多く、関心が高かったようである。企画展のテーマが「デザイン」というビジュアル的に親しみやすいことと、抽選ではあるが「図録が無料で当たる！」とした事により、女性の応募が多かったのではないかとと思われる。

#### 6) 企画展の事前認知度

「今回の企画展を何で知りましたか？」に対して67.9%の方が「ここに来て知った」と回答している。事前にマスコミリリースやポスター・チラシの県内配布（県内博物館、図書館・観光地等）、首里城公園ホームページでの告知を行ったが、県内外の方への告知が不十分だったようである。今後は、県内外へ情報が行き渡るような発信方法を考える必要がある。また、事前に知っていた入館者は、ポスター・チラシが15.4%、ホームページが7.0%、情報番組・ニュースが2.4%である事から、街中で見かけるポスター広告やメディア・SNS等を介した方法が効果的なようである。

「告知の方法として、どのような方法が効果的だと思われますか？」に対しては、ホームページが43.0%

と最も多く、次にCMとポスター・チラシが好ましいと答えている。ポスター・チラシを見て知った方が15.4%、情報番組やニュースを見て知った方が2.4%であることから、ポスター・チラシをもっと人目につく施設などに配布・掲示する事や、メディアを介しての方法が好ましいようである。その他に、「各学校に(県内の)」や「物産展をかねたPR等」、「観光客は観光雑誌をみてるので、雑誌がPRに効果的だと思う。」、「宿泊施設にポスター等あると見ます」、「空港などに大きくはってほしい」、「もっとツアーをくむ」、「レンタカー屋さんなどにあるといいと思う」など、県内では学校へのチラシ配布や、人が集まるような場所でのPR活動が挙げられ、県外から来られる方からは、旅行雑誌への掲載、旅行手配先や移動手段先、宿泊先などが挙げられた。

#### 7) 企画展の満足度

企画展の満足度について、全体の割合では「非常に面白かった」が42.5%、「面白かった」が50.4%と、全体で92.9%の方が満足していただいたものと思われる。どのような内容に満足を得ていたのかは、文末のご意見・ご感想報告の中に理由が書かれているので参照してほしい。

また、満足度が92.9%であったのに対し、次回も見に行きたいと回答した入館者は、全体で53.3%であった。要因として、その他の解答に「見に行きたいが、遠方のため見に行けない」や「金銭的・時間的に厳しい」という趣旨の解答が多くみられた。そのため、リピーター対策としてはいつでも来館可能な、近郊の県内客へ情報発信する必要があると感じた。

#### 8) ご意見・ご感想の記入内容

ご意見・ご感想の内容は、県内の方から「いつも拝見しています。沖縄に住んでいて、知らなかった事が多かったので勉強になりました。」(第Ⅰ期より←以下「Ⅰ」とする)、「このような、アンティークの秘宝がねむっていたことに県民としておどろかされました。どんどん企画楽しみにしています。」(第Ⅱ期より←以下「Ⅱ」とする)、「住んでても、ここにこないとわからないことばかりで楽しかった。」、「観光案内で来て、自分がはまってしまった。もっと知りたいです。りゅうの問題はタイムスのクイズでしっていたので、企画展でバッチリ覚えました。ありがとう！」(以上、第Ⅲ期より←以下「Ⅲ」とする)など感想があり、一度足を運んでいただければ、知っているつもりだった地元の歴史や文化が、実はもっと深く楽しいものだった!と興味を持ち、自分で調べたり、更に新しい発見を求めため、最終的には再度首里城への訪問(リピーター)に繋がっていくのではないかと考えられる。

今回も、解説キャラクターを使って資料の解説や案内を行ったところ、「絵とコメントが書かれていて、わかりやすかったです。来てよかったです。」(Ⅰ)、「キャラクターにフキダシでポイントを言わせているやり方が面白かったです。はっと目をひくし、会話の内容が頭に入ってきてやすい。とてもいいアイデアだと思います。」(Ⅱ)、「子どもにもわかりやすい説明で、簡単に通りすぎてしまうところをよくわかって、細かく見れて、よかったですと思います。」、「キャラクターをつかいとつきやすく、たのしく情報が知れました。」(以上、Ⅲ)など概ね高い評価を受けている。中には「流行のアニメ風キャラクターで人気はありそうだけど、私のように苦手な人もいると思う。」(Ⅰ)、「あのキャラクターは、展じ品の質が落ちてしまうので、いらなと思った。」(Ⅲ)など少数意見もあったが、解説キャラクターにより、いつもは素通りしてしまいそうな方でも、解説キャラクターが目に入る事で、足を引き止める効果もあるようだ。

今回のテーマ「首里城のデザイン」を取り上げた事について、「ひとつのテーマを見つけながら見学するのは楽しい。」、「テーマやモチーフによる企画は、興味を引きやすいと思います。」(以上、Ⅰ)、「ふつうなら見すごすことも知れて良かった。」、「新たに沖縄を知った思いがある。おもしろいデザインが多く、人に

知らせたい。」「よく見るとあちこちにぶどうとリスがデザインされている事を初めて知りました。いろいろ発見があって、とてもよい企画だと思います。」(以上、Ⅱ)、「龍と辰年をかけているのがとてもよい。」「企画がざん新でした。有難うございます。」「龍がとてもきれいで感激しました。デザインを紹介するという企画が初めてで良かったです。」「重要な日本の遺産の一つを新しい形式で紹介された美に興味を湧いた！」(以上、Ⅲ)など、テーマを決めての展示会が入館者にとって興味を引きやすく、そこに注目した事で新たな発見があった時、楽しさや面白さ、また見たいという事に繋がっていくと思うので、今後もテーマを設けた連続企画展を開催していきたい。また、「思っていたより、良かった。」「800円もとって思ってた入りでしたが、吃驚しました。こんなすばらしい展示とは思いませんでした。見がいがあり、入場料取り戻しておつりがきました。ありがとう！」(以上、Ⅰ)、「意外と面白かった」(Ⅱ)、「とても立派だと思います。多くの観光客は首里城は1回行けば充分だなどといいますが、そんなことは全くありません。次の企画展も期待しています。」「(Ⅲ)など、嬉しい声もいただいた。

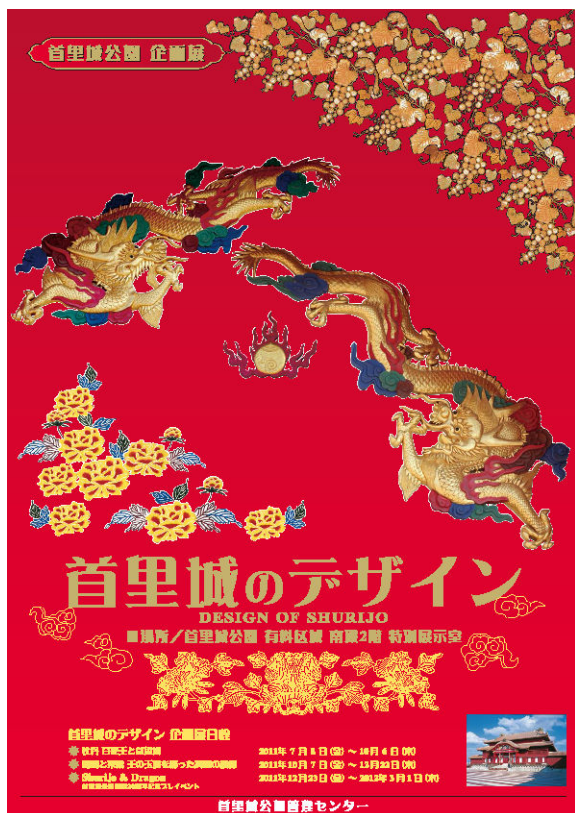
中には、「近ければ是非見に来たいです。」(Ⅰ)や、「札幌で開催されたら」(Ⅱ)、「色がすばらしい。ぜひ、東京でもやって欲しい。」(Ⅲ)などの声もあり、首里城内の企画展だけでなく、県内外への移動展等の取り組みも、首里城の告知や誘客に繋がるのではないかと考える。

#### 4 まとめ

今回の企画展で、「とても感動したので、いろんな人にみてほしいです。」や、「すばらしい！もっと告知を充実させてPRしてほしい。」「もっと地元の人が来たらいいと思う。」「もっと日本中にアピールしてほしいです。」「首里城の素晴らしさをもっと、PRして、旅行者に来てもらおうと良いと思います。」など、入館者からの声が多数あった。この事からも、全体的に告知不足であったことは否めず、今後の課題と言える。上記のご意見・ご感想を見ても分かるように、企画展の内容自体に対しては満足して頂いている事からも、やはり広報告知を充実させる必要があるものと思われる。

今後とも、広報告知の充実を行っていくと共に、アンケートの意見・感想にあった事を踏まえ、多くの方に喜んでいただけるよう、様々なテーマの企画展の開催を行い、いらして頂いたお客様に新発見や感動を与えられるよう、これからも努力していきたい。

# 告知チラシ



首里城公園企画展  
**首里城のデザイン**  
DESIGN OF SHURIJO

約450年の間、琉球王国の象徴であり、琉球の人々が世代を継ぎて崇め敬っていた首里城正殿。その正殿に使われた模様でデザインされた道具や衣裳の展示を通して、首里城のデザインの特徴を紹介していきたいと思ひます。

**企画展の内容**

**I 牡丹 百花王と首里城**  
牡丹は、花の中の王様「百花王」と呼ばれ、首里城正殿にも、牡丹の模様が使われていました。花の中の王様「牡丹」模様でデザインされた琉球の衣裳や祭道具の展示を行います。

**II 葡萄と栗鼠 王の玉座を飾った異国の模様**  
正殿二階にある王様の玉座には、葡萄と栗鼠の彫刻が施されていきました。玉座を飾った葡萄と栗鼠の模様でデザインされた、琉球漆器の展示を行います。

**III Shurijo & Dragon**  
首里城公園開園20周年記念イベント  
首里城正殿で、最も象徴的な「龍」の模様でデザインされた琉球の工芸品の展示を行いながら、首里城公園開園20周年記念イベントとして開催します。

牡丹をデザインした  
祭道具

葡萄と栗鼠を  
デザインしたお盆

龍をデザインしたお盆

**公館までのご案内**

1. 最寄りバス：首里城公園入口(バス)にて下車。徒歩約5分。
2. モーター車(貸し切り)：首里城公園入口にて下車。徒歩約15分。
3. 自乗：首里城下町線 首里駅南口乗車。首里城前にて下車。徒歩約2分。
4. 乗用車：首里城公園(無料)をご利用下さい。

**お問い合わせ**  
首里城公園管理センター  
**TEL. 098-886-2020**

PM19時以降にのみ受付可能。電話受付時間：9:45～18:00(休館日を除く)  
過去記事も好評です！ <http://blog.tmk.nawa.co.jp/shurijo/podcast/>

南殿2階特別展示室 展示レイアウト  
**首里城のデザイン I ～牡丹 百花王と首里城～**  
 平成23年 7月8日(金) ～ 10月6日(木)

